

# 技術士 Professional Engineer

巻頭言

活躍の舞台を海外にも 今後ますます重要性を増す技術者の国際貢献、外国への技術移転を考えれば、技術士の活躍の舞台を海外にも積極的に広げるべきだ。技術士会に2年前に立ち上げた国際特別委員会を中心として、技術士の海外活動を強力に支援していく。  
(高橋修・日本技術士会会長—技術士法制定50周年記念シンポジウムあいさつから)



社団法人 日本技術士会  
The Institution of Professional Engineers, Japan  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4丁目1番20号  
田中山ビル8階 ☎03・3459・1331 F A X 03・3459・1338  
http://www.engineer.or.jp

土曜日掲載

## 基本事業・推進課題を列挙

### 50年目の転機

高い職業倫理を備え、科学技術に関する十分な知識と経験を有し、責任を持って業務を遂行できる技術者としての能力を国から保証された技術士。全国260万技術者のリーダーとして、科学技術創造立国を実現するという崇高な役割を期待される。

「技術士を取得してはじめて技術者として社内で認められる」(飛鳥建設)

「技術力のみでなく、倫理意識・公益意識を有した技術者を育成したい」(日立製作所)

「技術士は、技術者としての最高ランクの権威ある資格であり、有資格者数が企業の技術力を示す指標として評価される」(東芝)

主要20社の本紙アンケート調査によると、建設、電機業界の有力企業は、社員の技術士資格取得を積極的に奨励し、あの手この手の奨励策を実施している。技術士は

まさに「法人としての技術レベルの証明とステータス向上」(鉄道総合技術研究所)を担わされているのだ。

半面、建設コンサルタント企業などでは、現実に「コンサルタント業務に必要」「エンジニアリング業務に有効」「提案営業に有利」といった資格メリットも無視できない。

技術士1万2000人で構成する日本技術士会(会長・高橋修氏—日本工営社長)は、21世紀の技術士像について技術士の義務と責任、日本技術士会の役割を明確にした04年6月の「技術士ビジョン21」、そのアクションプログラムともいうべき05年5月の「職域別技術士の位置づけ行動指針」「組織・制度改革への行動指針」に基づき、永田一良前副会長—写真—を委員長とする政策委員会がこの1年間、基本事業、代議員制度、地域組織、定款等諸規定について検討小委員会を設け、具体的な詳細検討を精力的に続けてきた。



5月10日の日本技術士会理事会に示された政策委員会の活動報告書では、次のような「基本的な事業と今後の推進事項」が盛り込まれている。(①直ちに力を入れ、2年以内に実行、②2年以内に組織的に充実、③2年以内に可否を含めて検討し、数年後には実施)

◇倫理—①技術士業務に関する苦情の受付と対処②技術士倫理問題ホットラインの設置・運営③倫理問題の紛争に関する調停、技術士への支援④倫理、品質、環境等の統合マネジメントシステムの開発と普及⑤企業等組織の技術倫理マネジメントシステムの開発と普及⑥会内外を対象にした技術倫理に関する研修プログラムの開発と実行

◇専門技術—②技術士CPD体制の構築・実施①技術士、一般技術者の業態に応じたカリキュラムの作成②CPD登録の推進①学協会との連携によるCPDの実施、ポイントの共通化③登録システムの高度化(他機関への開放・相乗り)①Eラーニング通信教育によるCPDの推進②CPD事業展開(セミナー開催、教材の作成・出版)③一般技術者の継続教育支援

◇理科教育支援—①子供技術教室・理科教室などの開催③市民科学技術教室などの開催

◇社会貢献—②災害時の専門家派遣③環境問題解決への指導・支援③国民技術相談センターの設立・運営

◇登録—③技術士登録更新制度 (倉義巳)

## 大学系最多の会員800人突破

### 大工大学園技術士会 22日に総会・特別講演会

大阪工業大学学園技術士会—会長・嵩原(たけはら)安孝氏—は、会員技術士が800人を突破したのを記念し、22日午後4時から、大阪市北区梅田の同学園大阪センター研修室で総会と特別講演会、パーティー(懇親会)を開く。

嵩原会長は「学園技術士会は社会の要請に配慮し、地域社会への貢献、防災対策、NPO活動、海外シルバーボランティアなどへの社会貢献を目指す団体に成長した

い。今日的な話題について広い視点で語り合い、一種のワイズマンクラブのような団体になれば」と話している。

総会後には吉川眞・大工大都市デザイン工学科教授が「空間情報技術(G—IT)を活用した都市デザインと景観デザイン」について特別講演する。また、総会や記念パーティーには、西川禎一(よしかず)学長や前田親良常務理事らも出席する予定だ。



#### 大阪工業大学学園技術士会

1974(昭和49)年4月1日発足。大阪工業大学学園校友会会員、母校在校生で技術士、技術士補試験合格者を正会員とし、会員技術士は現在847人(建設453人、上下水道161人、電気電子48人、総合技術監理111人ほか)。04年に就任した現会長の嵩原安孝氏(中央復建コンサルタンツ元常務)は7代目。

会則によると、母校在校生と会員相互の科学技術の向上を図るため、講演会、講習会や研修会などを開催し、学

園の発展、教育振興に寄与する事業を行う。

一般に大学技術士会というと、今年3月に設立された工学院大学技術士会、技術士青葉会(東北大学)を含め、全国主要大学9技術士会(ほかに東工大、日大、早大、武蔵工大、東理大、中大、千葉工大)が知られている。これに対して大工大学学園技術士会は、組織的な活動歴が最も古く、他大学がまだ数百人規模にとどまっている会員技術士数も最多の存在となっている。